

令和2年度 大阪薫英女学院中学校高等学校 学校評価

1 めざす学校像

「敬・信・愛」を建学の精神とする本校は、「21世紀の国際化した社会にたくましく生きる女性を育成する」ことを目標に掲げ、世界で活躍するとともに生涯にわたって幸せに充実した人生を送ることのできる人間の育成をめざしています。

自らの人生を切り拓き、いかなる苦難にも負けることなく「たくましく生きていく」ためには、「豊かな人間性」とともに「豊かな学力」が不可欠であることから、これら二つを一体のものとして捉え、よき集団の中で「豊かな人間性（人と関わる力）」を育むとともに、互いに励まし合い競い合っ「学力の向上」を図ります。

- 1 国際的な視野を持ち論理的に考えることのできるグローバル人材の育成
- 2 夢の実現に向けた学力の育成
- 3 友情を育み自立心を養う

2 中期的目標

- 1 国際的な視野を持ち論理的に考えることのできるグローバル人材の育成

(1) 留学の充実

姉妹校との連携を深め、安心安全な留学を基本とする「長期留学」のさらなる充実に努める。現地アドバイザーとの連絡を密に、生徒の状況把握に努め、留学の円滑な実施に向けて努力します。重大事故ゼロはもとより、姉妹校との連携を引き続き促進し、プログラムのさらなる質的向上を図ります。

*参加生徒へのアンケートでの満足度を、2021年度までに90%以上とします。

(2) 海外研修の充実

単なる観光ではなく体験を重視したプログラムを実施し、現地において異文化理解や国際交流が深められるよう努めます。また、これまで実施してきたニュージーランド1ヶ月留学やイギリス・カナダへの2週間語学研修、各種海外修学旅行のさらなる充実に努めます。

*参加生徒へのアンケートでの満足度を、2021年度まで90%以上を維持し、さらに向上させます。

(3) 「実用英語技能検定(英検)」の取組み

全校を挙げて英検に取り組み、中学卒業時で準2級以上、高校卒業時で普通科は2級以上、国際科は準1級以上の取得を目標とします。

*それぞれの取得率を、2021年度までに準2級70%、2級40%、準1級45%以上とします。

2 夢の実現に向けた学力の育成

(1) 授業の充実

公開授業、研究授業を定期的実施し、「分かる授業、興味を持てる授業」に努めるとともに、さらなる授業改善に取り組みます。

*年2回実施する「生徒授業アンケート」における総合評価のさらなる向上に努めます。

(2) 学習意欲の喚起

「一人で勉強しない」を合い言葉に、友人とともに学習に取り組むことで、学力のさらなる向上を図ります。

*生徒向け学校評価アンケートに、学習活動を通じた学力向上に関する項目を新設し、2021年度までに肯定的回答70%以上をめざします。

(3) 夢を実現する進路指導

生徒が主体的に進路目標を定め、実現できるように努めます。

*生徒向け学校評価アンケートに、進路指導に関する項目を新設し、2021年度までに肯定的回答75%以上をめざします。

3 友情を育み自立心を養う

(1) ともに競い合い、励ましあって向上する集団の育成に努めます。

学校行事に真剣に取り組むことで、みんなでやり遂げた達成感を味わうとともに、互いの存在に気づき尊重する豊かな心を育むことで、クラスへの帰属意識を養い、相互に良い刺激を与え合う集団づくりをめざします。

*生徒向け学校評価アンケートに、学校行事全般に関する項目を新設し、2021年度までに肯定的回答75%以上をめざします。

(2) 規範意識と豊かな心を育む

基本的な生活習慣の確立に努めます。

*基本的な生活習慣の象徴として、遅刻回数を2021年度までに2,000回未満にすることをめざします。

(3) 安心・安全な学校づくり

いじめを許さないことはもとより、互いを認め合える集団作りを推進します。また、そのための方策の一環として、保護者との連携の強化に努めます。

*生徒・保護者向け学校評価の「人権に配慮した指導」に関する項目に対する肯定的回答のさらなる向上に努めます。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [令和2年12月実施分]	学校評価委員会からの意見
<p>【概括】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30(2018)年度より、学校評価アンケート(生徒向け、保護者向け)の内容・項目を整理し、全体として25項目としました。この令和2年度も、生徒・保護者ともほぼすべての項目で高い評価をいただきました。保護者の皆さまからは「子どもを薫英に入学させてよかった」につきまして88.0%と高い評価をいただき、また昨年度の8項目を上回る12項目において80%以上の肯定的な回答をいただくことができました。この結果に安住することなく、ますます多くの生徒・保護者から安定した評価をいただけるよう、さらに研鑽に努めていきます。 <p>【学習指導等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己評価アンケート結果において、生徒からはとりわけ「英検」「成績評価」「人権の尊重」やについて80%を超える高い値を得ることができました。また、昨年度肯定的評価が75.7%だった「教職員の教育活動に対する熱心さ」も今年度は80.2%と上昇しました。一方、今年度の課題としておりました「(授業は)分かりやすく、丁寧か」という問に対する肯定的回答は、64.4%から70.4%に上昇したものの、まだ改善の余地があると考えられます。そして、今年度肯定的評価が最も落ち込んだのは「長期休業中や平日実施の補習講習への満足度」です。こちらは69.2%→62.3%と約7%の下落となります。主たる要因は新型コロナウイルス感染症による休校期間も長く、とりわけ高3のゼミやJトレーニングの開始が遅れたことなどが挙げられますが、次年度に向けて気を引き締めなければならない部分となっています。 保護者からも評価、講習・補習について80%以上の肯定的回答をいただきました。「自分の子どもは、授業に満足している」という項目に対する肯定的回答も74.1%と、昨年度より4%上昇しました。とはいえ、大学入試改革や、これからの時代を生きる若者にとって必要な「学力」が変化していく中、ICT教材の本格導入や教員相互の授業公開、教科内意見交流会の再検討などを行い、すべての教科・科目において、さらなる工夫により生徒の授業への興味、関心を一層高めていきます。 <p>【進路指導等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 希望進路の実現に向けて、「カリキュラム」及び「進路実現への教職員の積極的な取り組み姿勢」について概ね高い評価(生徒:75.8%、78.9%/保護者:81.5%、81.9%)を得ることができ、日常的なきめ細かな指導が評価されたものと素直に喜んでいきます。 この2020年度に実施された入試(2021年度入試)は大学入試改革の真っ只中であり、生徒たちは「大学入学共通テストの変更」「英語外部検定の活用」など錯綜する情報に翻弄されました。進路指導部や学年、担任からは新情報を即座に提供するよう心がけました。 希望進路の決定は生徒、保護者、教員の最大目標であり、引き続き進路指導室、高校3年学年はもとより全校的な協力体制のもと、生徒一人一人にきめ細かな指導をしていきたいと考えています。 <p>【生徒指導等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 遅刻・身だしなみなどの基本的な生活習慣は、学校生活全般はもとより、授業にもつながる、大切な要素だと認識しています。薫英では、一人ひとりの状況も斟酌し、画一的な指導ではなく日常的な教職員と生徒の信頼関係に根ざした「血の通った指導」に努めています。おかげさまで、保護者向け学校評価アンケートでは、76.9%の肯定的回答をいただきました。 学校行事に対する肯定的回答は、生徒:73.6%、保護者:82.2%という結果でした。特に昨年度は生徒:68.3%でしたので、5%向上しています。新型コロナウイルス感染症対策として文化祭を「薫英フェス」として内容も精査しましたが、生徒たちからは困難な状況下での実施が支持されたものだと考えられます。今後も学校行事の見直し、精選も進めながら、一つのものを作り上げるための努力の過程、問題解決、そして達成感を大切にしていきます。 <p>【その他、学校運営等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学入試改革はもとより社会の変化が急速に進む中、これからの時代を生きる子どもたちに求められる「力」も、これまでとは変化しているように感じており、学校運営についても、不易流行をしっかりと見極めた「改革」が求められる状況となっています。 大局的かつ冷静にこれらの変化を見極めて、過度に変化を懼れることなく学校運営(体制)についても、3年・5年先をきっちりとイメージしながら見直していきます。 インターネットを利用した緊急連絡システム(Fair Cast)による学校情報、内部の情報共有についても、保護者の83.4%から肯定的回答をいただくことができました。 	<p>【概括】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響を受け続けた1年にも関わらず、できることに最大限取り組まれ、子どもたちは充実した学校生活を送ったことがうかがえます。 厳しい状況の中で、長期留学を確保されたのもすばらしいことです。これからも留学を実現することが薫英の強みと考えられます。 先生方の生徒愛を感じることができた1年でした。「入学してよかった」という肯定的反応がアンケートからわかります。 <p>【学習指導等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「朝学習」「英検取り組み」「ゼミ・Jトレ」などの取り組みは、薫英の「一人で勉強しない」という合言葉にとっても合っており、保護者が薫英の教育活動を理解するうえでのポイントになっています。また、個人のスケジュール管理など時間を有効に使うことにも役立っています。さらに、友だちと一緒に勉強することが学力の向上や勉強習慣の定着に有効に作用していると思われます。 薫英の先生は熱心で生徒とよい関係を築かれています。これまでの取り組みを学年制でも進めてください。 研究授業や公開授業が先生の授業力の向上に役立っていると感じました。アンケートの結果等も授業改善に生かしてください。 <p>【進路指導等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関関同立レベルの大学に入学後も、薫英の卒業生の英語レベルはトップレベルだと聞いています。在校生にとっても今行っている勉強が力になると自信をもつことができます。この薫英の特徴をさらに伸ばしてください。 大学受験の改革が表明され、制度が多様化しています。高校1・2年の受験準備期間から、AO入試や公募制推薦入試など、自分に合った入試を見つける指導をさらにすすめてください。 今後さらにグローバル化が進む中で、海外の大学進学がいるとうかがい、入学時期がずれるので公表資料に入れにくいとは思いますが、実績として表してもいいのではないのでしょうか。 <p>【生徒指導等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登校時、生徒通用門に立って校長先生や先生方が生徒に向けて挨拶や声掛けをしている光景を見掛けます。保護者の方からは安心感のある活動と評価されています。そのことも影響し、たくさんの生徒が外部来校者や保護者に自然に挨拶をするようになっています。 コロナ禍の中で制限はあったものの感染症対策をとったうえで卒業式を実施され、生徒は胸をはって卒業できました。 式後には文化祭でできなかったフォークダンスを行い、卒業する生徒が楽しそうに踊っていると同時に保護者もその姿を見ることができ感無量でした。今後も生徒の気持ちに寄り添った行事の運営をお願いします。 コロナ禍で制限が強く、クラブ活動ができませんでしたが、できることからやっていき、中学も高校も一般のクラブ活動で生徒が活躍できるよう活性化してください。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの先生方が時間を惜しまずに生徒の話聞くことから、先生と生徒との信頼関係が作られています。このことから生徒が素直に授業を聞き、興味をもつことに繋がっています。この関係性を大切にしてください。 緊急連絡システム(フェアキャスト)は、コロナ禍の中で非常によく活用され、保護者は学校の状況や対応を早くに知ることができ安心しました。 留学中も継続して担任がおかれていることが、生徒、保護者の安心につながっています。 今年度は卒業生の活躍をホームページで紹介されていました。中学、高校とも在校生に加え卒業生の活躍をもっとホームページ等で知らせるといいと思います。 留学を継続して実施できたことは素晴らしいことであり、もっと広く知ってもらえたらいいと思います。インターネットやSNS等での広報にも注力してください。 耐震化、エレベーターの設置や教室の内装等、段階を経て整備をされています。引き続き校内施設設備の充実をお願いします。

3 本年度の取組内容及び自己評価

	今年度の重点目標	具体的な取組み計画内容	評価指標	自己評価
1 国際的な視野を持ち論理的に考えることのできるグローバル人材の育成。	<p>(1)海外留学の安全な実施と内容の充実</p> <p>(2)各種海外研修の充実</p> <p>(3)実用英語技能検定(英検)の取り組み</p>	<p>ア. 全ての海外における学習が安全に行えるよう体制の整備、生徒の支援に取り組む。特に1年間の長期にわたる留学については無事に終わることができるよう、現地との連絡を密にして生徒を支援する。</p> <p>イ. 1年間の留学を意義あるものにするために、親元を離れ海外で生活する決意を固め、具体的目標を持って留学に望むよう、留学説明会や保護者交流会を定期的実施する。</p> <p>ウ. 姉妹校との連携の強化、並びに現地アドバイザーと本校国際教育部との連携を密にし、生徒や保護者を支える体制の維持に努める。</p> <p>ア. 各種海外研修についても、事前の準備を含めて、内容の一層の充実に努める。</p> <p>ア. 「英検取組み週間」を設定し、クラスの仲間とともに、より上級にチャレンジする。</p>	<p>ア. 生徒の安全にかかる重大事故0に努める。</p> <p>イ. 決意を持って留学ができたか、予期した成果のある留学であったかを留学後に検証する。</p> <p>ウ. NZ駐在教員が生徒の留学している全ての姉妹校を訪問し、生徒の状況を把握するとともに、姉妹校との連携に努める。</p> <p>ア. 海外研修後の生徒アンケートにおいて満足度80%以上</p> <p>ア. 中学卒業時に英検準2級以上70%、高校卒業時に2級以上60%の取得。</p>	<p>ア. 新型コロナウイルス感染症が世界中に広がる状況下で、短期留学や修学旅行については延期・中止となりましたが、1年留学については無事全うしました。また、3月にはさまざまな困難はありましたが長期留学者全員がカナダへと出発しました。(◎)</p> <p>イ. 留学説明会は例年5・8・11月の3回実施していたものを、6月・8月・10月・11月・1月と計5回開催。(○)</p> <p>ウ. 新型コロナウイルス感染症の広がりによって留学先の大部分を占めていたNZへの渡航が困難となり、留学先はカナダとなりました。それに伴って現地駐在教員の派遣を試みましたが、留学する生徒以外は入国できない状況が続く、実際に派遣できたのは令和3年9月となりました。(△)</p> <p>ア. 生徒アンケート結果 今年度は新型コロナウイルス感染症の世界的な流行のため、実施できませんでした。(△)</p> <p>英検については、中学卒業時の英検準2級以上取得は62.5%とやや目標を下回ったものの、高校卒業時の2級以上取得68.5%、準1級以上取得26.3%と成果指標を超える好成績を収めました。加えて、19年連続で1級取得者(4人)を輩出することもできました。(◎)</p>
2 夢の実現に向けた学力の育成	<p>(1)授業の充実</p> <p>(2)学習意欲の喚起</p> <p>(3)夢を実現する進路指導</p>	<p>ア. 公開授業および各教科による研究授業を実施し、授業力の向上を図る。授業アンケートを実施し、「分かる授業、興味を持てる授業」を目指して、更なる授業改善に取り組む。</p> <p>ア. 「一人で勉強しない」を合い言葉に友人とともに学習に取り組み学力の向上を図る。</p> <p>ア. 主体的に進路目標を定め、真に望む進路が実現できるよう支援に努める。</p> <p>イ. 大学進学ゼミ・Jトレーニング・理数指導室の開講</p>	<p>ア. 授業アンケート結果 3.2を目標</p> <p>ア. 各クラスにおける定期テスト対策学習会の実施状況。自習室の利用状況。</p> <p>ア. 「行ける大学」ではなく「行きたい大学」が選択できる進路相談を、高校3年生で5回程度実施する。</p> <p>イ. 国公立大学10名以上、関関同立90名以上合格。</p>	<p>ア. 生徒授業アンケート結果は、総平均3.34と目標は達成できましたが「分かる授業・興味を持てる授業」をめざして、さらなる授業改善に取り組みます。(○)</p> <p>ア. 年5回の定期考査前には約1週間の学習会取り組みも全クラスに定着し、参加率はほぼ100%でした。また、自習室については年間利用者数延べ3,099人となり、1日当たりの利用者数は昨年度並みとなりました。(○)</p> <p>ア. 進路ガイダンスを高1で1回、高2で4回実施。高3においては、保護者対象3回、生徒対象5回、保護者、生徒対象で2回実施。生徒の進路選択の支援に努めました。(○)</p> <p>ア. 国公立進学6名、関関同立79名と目標値の約9割に止まりました。(○)早期から進路説明、情報提供などで、生徒に国公立・私立大学などについて意識を持たせることを目指します。</p>

<p>3 友情を育み自立心を養う</p>	<p>(1)ともに競い合い励ましあって向上する集団の育成に努める。</p> <p>(2)規範意識と豊かな心を育む</p> <p>(3)安心・安全な学校づくり</p>	<p>ア. 学校行事に真剣に取り組み、互いの存在に気づき尊重する「豊かな心」を育む。また、行事準備期間を重視しさまざまな葛藤を経てクラスへの帰属意識を養い、ともに支えあう集団を育成する。</p> <p>ア. 基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成</p> <p>イ. 生徒会活動の活性化を図り、生徒の主体的な活動を支援する。</p> <p>ウ. クラブ活動の活性化 放課後の活動の中で、クラス、学年、ブロックを超えた生徒間の関わりを持たせる。 強化クラブ（陸上、バスケットボール、ソフトテニス）の大会実績の向上。</p> <p>ア. 一人一人を大切に作るクラス（居心地がいいと感じるクラス）を生徒と共に協力して作る。本校「いじめ防止基本方針」に基づきいじめ事象の未然防止に努める。</p> <p>イ. 保護者への情報の提供、共有に努める。</p>	<p>ア. 生徒向け学校評価アンケートにおいて、行事に対する肯定的回答70%以上</p> <p>ア. 保護者に対するアンケート結果で80%</p> <p>イ. 生徒会活動の状況生徒向け学校評価アンケートでの肯定的回答70%以上</p> <p>ウ. クラブ活動の実績 外部競技会への参加、他校交流を奨励する。 強化クラブの上位入賞を目指す。</p> <p>ア. 保護者・生徒向け学校評価アンケートで肯定的回答80%を目指す。</p> <p>イ. 保護者アンケート結果で肯定的意見80%を目標とする。</p>	<p>ア. 生徒向け学校評価アンケート結果は、肯定的な回答が73.6%（昨年度68.3%）と、今年は評価が向上し、目標を達成することができました。今後も、準備期間を含めた学校行事を通じた生徒たちの成長を大切にしつつ、満足度の高いものを目指していきます。（◎）</p> <p>ア. 保護者向け学校評価アンケートでの「生徒指導方針への共感」について肯定的な回答は76.9%（昨年度78.4%）と、残念ながら目標の80%に達しませんでした。地道な指導がもっとも大切であり、引き続き努力します。（△）</p> <p>イ. 生徒向け学校評価アンケート結果は、肯定的回答が78.8%（昨年度72.5%）と目標を越えることができました。引き続き日々の生徒会活動を支援していきます。（◎）</p> <p>ウ. 陸上部：全国高等学校駅伝競走大会に15年連続15回目の出場を果たし、7位に入賞しました。高校バスケットボール部：12年連続で優勝していた近畿大会は中止。大阪高等学校選手権には優勝し、ウィンターカップにも出場しました。これらの成果を他のクラブの活動にも波及させていきます。（○）</p> <p>ア. 「人権を重視した指導」に対する肯定的回答は、保護者84.5%（昨年度91.2%）、生徒：83.4%（81.3%）と目標を達成しました。引き続き、いじめ防止はもとより、充実した指導に努めます。（◎）</p> <p>イ. 保護者向け学校評価アンケートでの肯定的回答83.4%（85.3%）と目標を達成しました。PTA活動に対する肯定的回答も84.5%（昨年度86.9%）と堅調です。引き続き、学校と保護者が一体となった指導に努めます。（◎）</p>
----------------------	--	--	--	--